

実践！『統合報告書』作成の勘所

～見てきた統合報告書の課題を、「国際統合報告フレームワーク」とベタープラクティスから学び2015年版の作成に生かす～

《開催要領》

- 日 時● 2015年6月11日(木) 10:00～17:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師

キュー・エム・コンサルティング

取締役社長 公認会計士 松原恭司郎 氏



講師紹介

国際会計事務所系コンサルティング会社などを経て1992年に独立。バランス・スコアカード、ビジネスモデル、そしてERP関連のコンサルティング業務に従事。情報処理システム監査技術者。東北福祉大学兼任講師、元 中央大学大学院特任教授(2008年4月～2015年3月)。
主な著書に『図解「統合報告」の読み方・作り方』(2014)中央経済社、『ビジネスモデル・マッピング教本』(2013)、『ビジネスモデル・マッピング～ケースブック』(2014)、『松原流:戦略マップ/BSC実践教本』(2010)日刊工業新聞社などがある。

《開催にあたって》

2013年12月の国際統合報告評議会による「国際統合報告フレームワーク」の公表を受けて、2014年には統合報告書を発行する日本企業も150社近くにのぼり、統合化を奨励する表彰制度も設けられています。また、東証が2015年6月からコーポレートガバナンス・コードの導入を予定するなど、2015年は統合報告書の発行が加速するものと予想されます。

そこで、統合報告書作成上の重要テーマ(ビジネスモデル開示、結合性、KPIなど)を中心とした解説とベタープラクティスのレビューを通して、より質の高い統合報告書の作成に役立つ情報を、『図解「統合報告」の読み方・使い方』の著者がワークショップを交えて噛み砕いた形でお話しします。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

FAX:03-5215-0951

*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・書籍代含)

正会員 41,040円(本体価格38,000円) 一般 45,360円(本体価格42,000円)

151317-0404 実践！『統合報告書』作成の勘所			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職 職	
E-mail			

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】)

※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

実践！『統合報告書』作成の勘所

6/11
(木)

10:00

1. 「投資家との対話」の重要なツールとなる<統合報告>

～東証が2015年6月から導入予定のコーポレートガバナンス・コード他と統合報告の関係を確認する～

- (1) コーポレートガバナンス・コード、伊藤レポート他の概要と特徴
- (2) コーポレートガバナンス・コード他と<統合報告>の関係

2. 統合報告で先行する企業に学ぶ「統合報告書作成上の重要テーマ」

～日本の統合報告書発行企業数も2014年に150社近くにのぼり、そこから見てきた作成上の課題を棚卸しする～

- (1) 国内外の調査報告等に見る統合報告書の課題
- (2) 各種調査等を踏まえた「統合報告書作成上の重要テーマ」
- (3) ビジネスモデルの開示(図表化、戦略との関係他)
- (4) 結合性(財務情報と他の情報、統合報告書内外の情報間他)
- (5) KPI(財務、オペレーショナル、ESG関連)など

3. 「国際統合報告フレームワーク」のポイント確認

～統合報告書作成上の重要テーマについて国際統合報告評議会(IIRC)が2013年12月に公表した「国際統合報告フレームワーク」を読み解く

- (1) 国際統合報告評議会の活動と成果物の概要
- (2) 「国際統合報告フレームワーク」の構成と概要
- (3) 「統合報告書作成上の重要テーマ」に係る「国際統合報告フレームワーク」の解説

4. 「統合報告書のベタープラクティス」のレビュー

～2015年版の作成に向けて、統合報告書関連の表彰制度の受賞企業など統合報告書のベタープラクティスからヒントを得る～

- (1) 「重要テーマ」別のベタープラクティス
- (2) 【ワークショップ】
ベタープラクティス企業の統合報告書のレビュー

※当日、会場にて講師著『図解「統合報告」の読み方・使い方』中央経済社を配布いたします。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

17:00

裏面もご覧下さい！一枚のパンフレットで2種類のセミナーをご案内しております。